

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

私が同志社女子大学に魅力を感じた1番の理由は、留学制度が整っていることです。卒業には留学が必須の要件であり、留学に力を入れていると考えました。また、授業は10人程度の少人数クラスということにも魅力を感じ、志望校と決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

私は受験機会を一度でも多く得るために推薦入試から受験しようと考えました。推薦を頂ける成績を残せるように特に苦手であった古文・現代文の予習・復習は必ず行い、定期考査対策に早めに取りかかりました。そして、推薦Sと推薦Lを併願で受けるために、得点源であった英語力もさらに向上できるように学習に力を入れました。それに加えて、同志社女子大学の過去問題を解き始め、推薦Lに必要なwritingの強化と、日本語と英語による面接練習を始めました。

受験勉強の進め方【夏休み】

7月：まず自分の実力を知るために受験方式ごとの過去問題を解いてみました。その結果、自分の弱点は、①現代文の語彙力不足、②古典文法、③英語の文法、だとわかりました。

8月：優しめの古文問題集で古典文法と古典常識を基本から勉強し直しました。英語は、同志社女子大学の過去問を解き、分からない単語や文法を調べ理解したうえでもう一度その長文を読み直して、英文としても理解し直すなどの学習をしました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

9月：2学期の中間考査対策で行った文学史の勉強が入試対策にもなるように何度も繰り返し学習しました。

10月：現代文単語、漢字の学習、古典文法の中でも特に敬語法、などの弱点補強をしました。この頃までには今までの過去問題全てを解き終えて、さらに、同志社女子大学と難易度が近い私立大学の過去問題を解きました。そして、同じような問題で同じような間違いを再びしないために、学校の先生や塾の先生に採点してもらい、どのような復習をすべきかをアドバイスして頂きました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

私は複数の塾に入っていたので、学校の勉強との両立や、各教科の予習復習のバランスをとることが一番の課題でした。効率よく集中して勉強するため、スマートフォンは移動時間だけ使う、夜10時以降は親に預ける、などの工夫をしていました。勉強ばかりで少し気持ちが滅入った時には、趣味のギター演奏を時間を決めてやっていました。好きなことも全部禁止するよりは、かえって気分転換になって勉強に集中できたように思います。

受験生のみなさんへ

私はオープンキャンパスに参加したことが、入学志欲を高め、受験勉強を進めるうえでとても役に立ちました。具体的な勉強方法の中で一番役に立ったのは、過去問題演習です。入学試験の傾向と自分の弱点がわかり、その後の対策が立てやすくなるので、早めにやるのがいいと思います。

